

活 力 づ く り

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出
施策の将来の目標像	大学や試験研究機関が蓄積してきた知的資産の価値をより高め、優れた知的資源を様々な分野で一層活かしていくことで、イノベーションや地域連携により多くの社会課題を解決するような活力あふれる都市となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	4 大学との連携事業数	129 件	145 件

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実	主管部局・所属	総務部 政策推進監
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学の知を社会につなぐイノベーション・エコシステムの構築	現状	大学と市が一体となったまちづくり推進体制の強化が必要	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
大学の特色を活かした地域社会課題解決に向けた取組みの具体化が明確になっていない	イノベーションの創出に向けた仕掛けやハブ(拠点)づくり	中	1	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R5	R6	R7(参考値)		
(7) スマートシティ共創コンソーシアム内のプロジェクト件数(計画期間累計)	0 (R3)	8	12	16	12 (R6)	件
(4)	()				()	
(7)	()				()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	5年度		31,593			
			11,353			
	6年度		118,432			
			7,932			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	2-1-7 Town&Gownプロジェクト推進事業	政策推進監	1.20	31,593	118,432
合計			1.20	31,593	118,432

R5 当初予算額		R6 当初予算額	
R5 決算額		R6 決算額	
R5 当初予算額の分析（結果前掲の表と関連しませ）			
R6 当初予算額の分析			
R5 決算額の分析			
決算時記載			
R6 決算額の分析			
R5 当初予算額の分析			
R6 決算額の分析			
R5 当初予算額の分析			
R6 決算額の分析			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出	① 大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実

事業の概要				
戦略	1	イノベーションの創出に向けた仕掛けやハブ（拠点）づくり	予算 118,432 千円	前年度 31,593 千円
事務事業	1-1	Town&Gown プロジェクト推進事業	予算 118,432 千円	前年度 31,593 千円

内容

1-1_Town&Gown プロジェクト「次世代学園都市構想に基づく新たなまちづくり」

【新】①次世代学園都市構想を支える骨格づくり(5,500 千円)

次世代学園都市構想の策定以降、広島大学周辺における半導体産業やモビリティの活発な動きを踏まえて、当該エリアにおける人口フレームの見直し、JR各駅や国道2号線バイパスなどの広域幹線道路との効果的な接続が期待できる道路網などの検討を行いながら、まちづくりの骨格づくりを進めていく。

【期待する将来】

大学・研究機関・企業／「Town&Gown」の仕組み

【期待する将来】

Well-being

SDGs

ポジティブピース

- 世界から起業家や研究者が集まるまち
- 新技術の社会実装と経済の好循環の実現
- ゆとりと魅力ある居住空間の実現
- 「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築

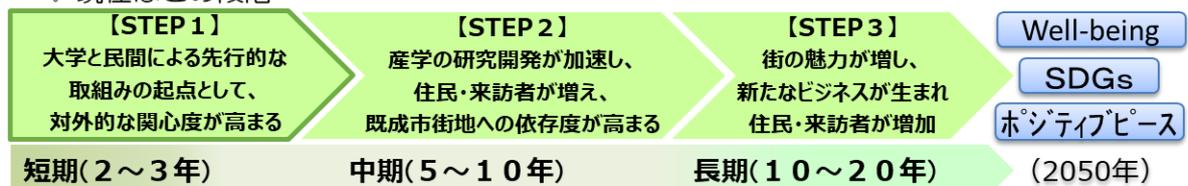
【新たな仕掛け】

- ・「Town&Gown」の推進
- ・スマートシティ共創コンソーシアムの形成（企業を呼び込む仕組み）
- ・大学と都市がセットで選ばれるための基盤形成

【3つの取組】

- ・イノベーションが起きる仕組みづくり ～快適性や利便性を含めた新たな価値の創出～
- ・グローバルスタンダードな生活環境づくり ～国際色豊かな魅力ある都市拠点の形成～
- ・人づくり（学びと実践） ～地域全体のグローバルな頭脳循環への参加～

📍 現在はこの段階



事業の概要

②次世代学園都市構想に基づく事業展開(10,632 千円(前年度 20,240 千円))

「次世代学園都市構想」(令和3年度策定)に基づき、広島大学スマートシティ共創コンソーシアムによるエリアデザイン(展開エリア、まちづくり計画等)を実施する上で、地域(住民、地元企業)と情報を共有し、民間主体の土地区画整理事業による新たな土地利用計画の検討を進めていく。

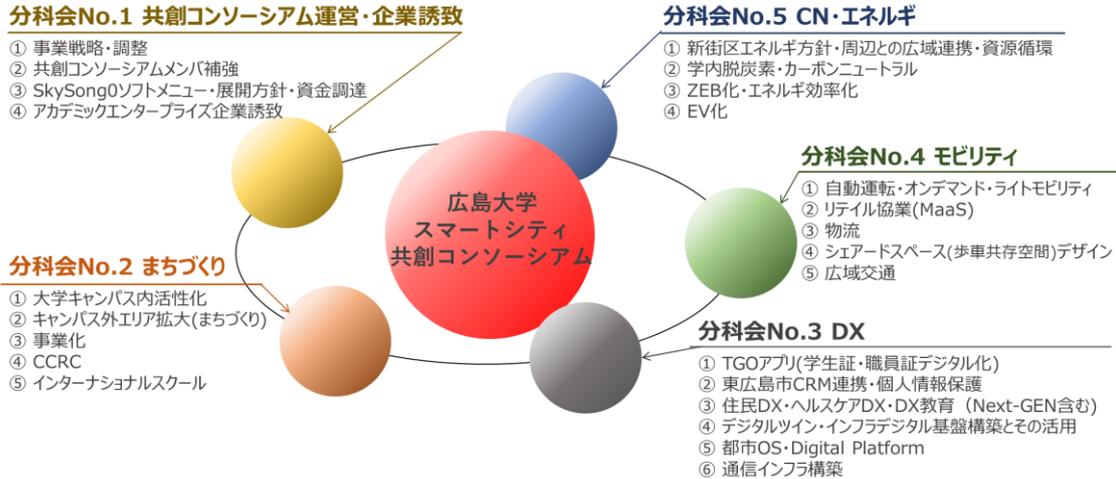
広島県と連携した「ゆとりと魅力ある居住環境の創出」も並行して取り組むほか、都市計画の見直しなども進めていくことで、目指すべき将来ビジョンの実現を目指す。

【構想の推進母体】 広島大学スマートシティ共創コンソーシアム (令和6年2月8日現在)

(代表機関)	(推進機関)
広島大学	(株)サタケ、三井住友信託銀行(株)、中国電力(株)、
(副代表機関)	(株)復建調査設計、ダイキン工業(株)、
東広島市	日産自動車(株)、(株)イズミ
(幹事機関)	(特定推進機関)
住友商事(株)、(株)フジタ、 ソフトバンク(株)	ミサワ環境技術(株)、大日本印刷(株)、 広島ガス(株)、マイクロンメモリジャパン(株)、 医療法人社団葵会

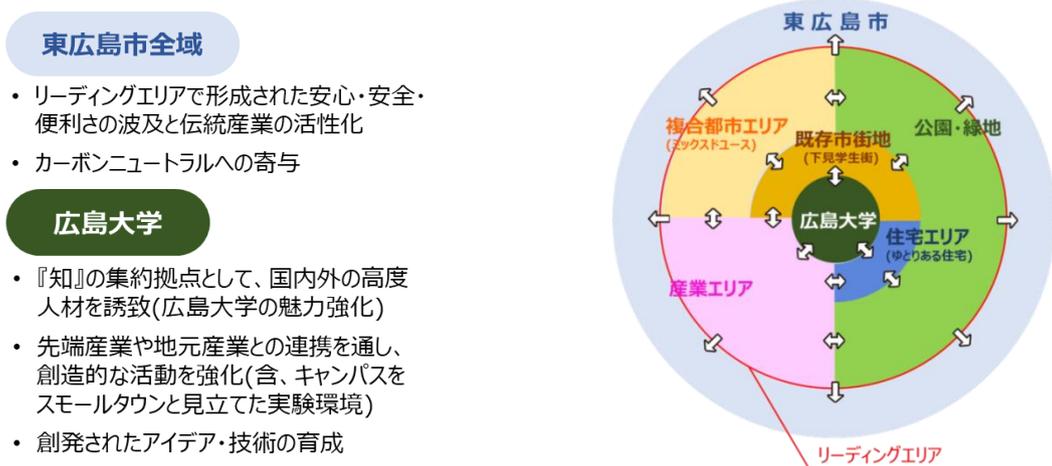
【広島大学スマートシティ共創コンソーシアムの活動内容】

運営協議会及び5つの分科会(実務ベースでは更に小分科会)を構成し、基盤構築等の活動を推進



【エリアデザインにおけるゾーニング】

(広島大学を起点として検討したゾーニング)



事業の概要

③企業版ふるさと納税を活用した基盤構築(100,000 千円)

令和3年7月に内閣府から認定を受けた地域再生計画（東広島市まち・ひと・しごと創生推進計画）を実施するため、令和3年度から令和6年度までの認定期間中に、次世代学園都市を形成するためのインフラ整備に取り組む。

【これまでに実施したインフラ整備の事例】



TGOアプリ



多言語コミュニケーション

留学生活に必要な情報を調べる



多言語でわかる



お知らせが届く



電気自動車(EV)カーシェア



MaaS 車両



(マイナンバーカード申請) (少年スポーツでの活用)

④国際学術研究都市としての総合的な魅力づくりに向けた機運醸成

(2,300 千円(前年度 11,353 千円))

「Town&Gown」のモデルとしているテンピ市・アリゾナ州立大学を訪問したことを受けて、先進的なまちづくりを行うため、アーバンデザイナーなどの有識者を招聘し、講演会、勉強会などを実施する。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出
施策の将来の目標像	大学や試験研究機関が蓄積してきた知的資産の価値をより高め、優れた知的資源を様々な分野で一層活かしていくことで、イノベーションや地域連携により多くの社会課題を解決するような活力あふれる都市となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	4 大学との連携事業数	129 件	145 件

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 大学との連携によるまちづくりの推進	主管部局・所属	総務部 政策推進監
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学との有機的な連携の促進	現状	まちづくりにおける大学との一層の連携が必要	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	大学の強みを活かした連携が不十分	大学の特色を活かしたまちづくり	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 4大学との連携事業数	129 (H30)		142	145	148	145 (R6)	件
(4) COMMONプロジェクト の認定件数(累計)	5 (R3)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	20	35	40	35 (R6)	件
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度			36,155			
			3,253			
R6年度			44,042			
			8,542			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出	② 大学との連携によるまちづくりの推進

事業の概要				
戦略	1 大学の特色を活かしたまちづくり	予算	44,042 千円	前年度 36,155 千円
事務事業	1-1 大学連携推進事業	予算	44,042 千円	前年度 36,155 千円
内容				
<p>1-1_大学との連携の推進</p> <p>大学と市との組織的な連携の支援や連携事業の推進などを行うほか、市内4大学の学長等とのトップミーティングを行うとともに、大学の特色づくりや魅力づくりを支援するなど、より強力な戦略的パートナーシップを構築しながら大学との連携事業を推進する。</p> <p>①大学との連携体制の構築</p> <p>ア 市内大学への Town&Gown の展開(16,216 千円 (前年度 15,818 千円))</p> <p>大学と市が共同で地域社会における課題の解決に取り組むため、市内大学に Town&Gown Office を設置し、大学との研究推進体制・機能の充実強化を行うほか、大学との連携による魅力あるまちづくりを進め、より強力な戦略的パートナーシップを構築しながら大学との連携事業を推進する。</p> <p>(ア) 広島大学 (うち 9,500 千円)</p> <p>国際的研究拠点東広島の形成に向けた取組み及び大学と一体となったまちづくりマネジメントを推進するため、広島大学と共同で Town&Gown Office を運営し、地域社会の課題解決に向けた活動への支援を行うとともに、広島大学スマートシティ共創コンソーシアムと連携し、次世代学園都市構想に基づいたまちづくりを展開する。</p> <p>(イ) 近畿大学 (うち 6,000 千円)</p> <p>地域のより一層の活性化に向け、近畿大学と共同で Town&Gown Office を運営し、大学・市内企業・市が一体となり、産学連携強化の推進や人材育成、地域社会の課題解決に向けた活動への支援を行うとともに、大学(学生)、自治体、地域が連携した産学官民連携によるまちづくりのモデル構築に取り組む。</p> <p>(ウ) 広島国際大学</p> <p>市と大学が一体となって健康なまちづくりを行うため、広島国際大学と共同で Town&Gown Office を運営するとともに、地域社会の課題解決に資する学術研究の社会実装や人材育成を目指す。また、健康づくり(市業務連携)、企業連携(社会実装)、人材育成(社会学科フィールド)の連携事業の構築を進める。</p>				

事業の概要

【新】イ 全国 Town&Gown 構想推進協議会フォーラム(1,000 千円)

全国 Town&Gown 構想推進協議会の参加団体等の知見や課題の共有、交流のための学会形式のフォーラムにおいて、Town&Gown 構想の展開の促進や機運醸成を目的として、市制施行 50 周年を記念した講演会等を開催する。



全国 Town&Gown 構想推進協議会設立総会

ウ エリザベト音楽大学との連携(3,326 千円 (前年度 5,337 千円))

エリザベト音楽大学と大学の特色に応じた連携体制を構築し、大学を活かしたまちづくりを推進するため、エリザベト音楽大学が実施するコンサート等の開催を支援する。

(ア) 親子コンサート(年 1 回) (うち 1,170 千円)

内容：0 歳児から親子で一緒に楽しめる参加型コンサート
場所：東広島芸術文化ホールくらら



親子コンサート

(イ) 美術館コンサート (年 1 回) (うち 153 千円)

内容：美術館で行われる展示企画に合わせた音楽とのコラボレーションコンサート (ロビーなどで実施)
場所：東広島市立美術館



美術館コンサート

(ウ) 市内中学校の音楽関連部活動への支援 (年 1 回) (うち 803 千円)

内容：大学の専門技術を活かして中学校の音楽関連部活動への技術指導、交流活動を行う。
場所：市内中学校 (市内各中学校の吹奏楽部等、参加生徒約 300 人)

事業の概要

(I) 市制施行 50 周年記念コンサート（うち 1,200 千円）

内容：市制施行 50 周年記念コンサートを実施し、大学との連携を深めるとともに、市民が芸術文化に触れる機会を創出する。

場所：東広島芸術文化ホールくらら

【拡】②COMMON プロジェクト(23,500 千円（前年度 15,000 千円）)

市内 3 大学の知的・人的資源を活用し、行政課題の解決や重点施策の推進に向けた共同研究を行う。

- ・ 初期支援型(上限 50 万円)
- ・ 共同研究型(上限 300 万円)

【令和6年度 主な COMMON プロジェクト(共同研究型)テーマ】

項番	研究テーマ	研究内容	当該年度の到達目標
1	効率的な消防体制の整備	・最新のデータサイエンス技術を用いて、消防データの需要分布の分析に基づいた消防サービスの最適配置案を作成する。	・消防 GIS の作成 ・基本統計に関する分析
2	住民参加型有害鳥獣対策	・有害鳥獣の個体識別を行い、個体の移動経路などをマップ上に落とし込み、可視化し、地域住民と協力した有害鳥獣対策を目指す。	・有害鳥獣のモニタリング ・有害鳥獣の個体数推定 ・観測データを統合した有害鳥獣デジタルマッピングの構築
3	乳幼児の発達支援の体制づくり	・発達評価マニュアルの作成、現行の支援体制の検証、移行や連携に要素の抽出により、乳幼児の発達支援の体制を整備する。	・乳幼児健診への発達評価マニュアルの試験導入 ・健診から療育・教育機関との移行・連携システムの構築
4	豪雨災害を想定した流域土地利用計画の作成	・農地を活用した「田んぼダム」による水害抑制効果の定量化や河川氾濫シミュレーション用流域モデルをもとに実証実験を行う。	・田んぼダムの実証実験 ・流域土地利用計画シナリオの作成
5	学校と地域がつながる JR 西高屋駅周辺のまちづくり	・駅前通りの活性化を目的に、図書館や空き家の利活用を、学生・地元住民・地域企業と共に検討し、持続可能なまちづくりを目指す。	・ワークショップによる駅前通り活性化のイメージ作成 ・図書館の運用及び行事の企画 ・空き家での DIY ワークショップと実証事業の実施
6	ICT・RT の農林水産業への活用（水利施設の点検・管理へのドローンの応用）	・ドローンを用いて、ため池堤体の崩れや水漏れ等の異常を AI で自動認識する、効率的なため池自動点検システムを構築する。	・堤体崩れ、堤体水漏れ検知手法の構築 ・計測情報に基づいたドローンでの自動点検手法の構築
7	安芸津沿岸地域の魅力向上と持続可能な管理	・安芸津地域の活性化や安芸津港からの受入態勢の強化を目指し、安芸津地域の歴史的な特性や地域の個性を検証し可視化する。	・地図史料、文献を基にしたフィールドワークによる地域特性の発見 ・他地域とのつながりの発掘
8	睡眠による健康寿命の延伸	・睡眠の質とストレスマーカーの関連を分析し、睡眠の効果測定から改善メニューを検討するなど、改善に効果があったかを検証する。	・睡眠衛生指導後の改善傾向、心の落ち込み改善の検証

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	2 多様な市民の力が輝くまちづくり
施策の将来の目標像	国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら、あらゆる場面で活躍をしています。また、転出者を含め、市外に暮らす方々も、東広島市に愛着を持ち、何らかの関わりを持ちながら本市の活力づくりに寄与しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	市がコーディネートした学生の地域活動件数(年間)	24件(H30年度)	30件
	人口の社会増加数	364人/年 (H22~30年度の平均)	400人/年

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 多様な人材力が発揮できる環境の充実	主管部局・所属	総務部 政策推進監
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	学生の地域活動の促進	現状	学生をはじめとした人材の力が発揮できる環境が整っていない	
課題	→	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
学生が地域を知る機会が少ない 学生と地域との交流・連携が少ない		学生と地域との交流連携の促進	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 市がコーディネートした学生の地域活動件数(年間)	24 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	29	30	31	30 (R6)	件
(4)	()					()	
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度			18,100			
			1,800			
R6年度			16,734			
			1,500			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	2-1-7 学生の地域交流連携促進事業	政策推進監	0.80	18,100	16,734
合計			0.80	18,100	16,734

R5 当初予算の分析（異動あり）		R5 当初予算の分析（異動あり）	
R6 当初予算の分析（異動あり）		R6 当初予算の分析（異動あり）	
R5 決算額の分析		R5 決算額の分析	
R6 決算額の分析		R6 決算額の分析	
決算時記載			
R5 決算額の分析		R5 決算額の分析	
R6 決算額の分析		R6 決算額の分析	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	2 多様な市民の力が輝くまちづくり	① 多様な人材力が発揮できる環境の充実

事業の概要				
戦略	1 学生と地域との交流連携の促進	予算	16,734 千円	前年度 18,100 千円
事務事業	1-1 学生の地域交流連携促進事業	予算	16,734 千円	前年度 18,100 千円
内容				
1-1_学生と地域との交流・連携の促進				
①広島県留学生生活躍支援センターの運営費負担 (1,500 千円 (前年度 1,500 千円))				
留学生の受入促進や生活・就職支援を一元的に行う広島県留学生生活躍支援センターの活動を通じて、留学生の受入促進及び生活・就職を支援する。				
※会員：大学、短期大学及び高等専門学校、日本語専門学校、 行政機関、経済団体及び国際交流団体				
市内留学生の推移 (単位:人)				
R1	R2	R3	R4	R5
1,680	1,766	1,374	1,072	1,642
※住民基本台帳在留資格が「留学」であるもの(各年3月末の人数)				
				
就職活動実践セミナー (東広島会場)				
②学園都市づくり交流会議の運営 (15,234 千円 (前年度 16,600 千円))				
大学と地域との交流を通じて、相互理解と親睦を深め、大学の地域への定着を促進し、文化の薫り高い学園都市づくりに寄与するため、大学、市、関係機関で組織する学園都市づくり交流会議を運営する。				
※構成団体：広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市、 東広島商工連絡協議会、ひろしま農業協同組合、 一般社団法人東広島青年会議所、東広島市スポーツ協会、 東広島市文化連盟、公益財団法人東広島市教育文化振興事業団				
学生数の推移(統計でみる東広島) (単位:千人)				
R1	R2	R3	R4	R5
16.1	16.6	16.7	16.7	16.2
※広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学の市内キャンパスにおける学生数				

事業の概要

ア 学生の拠点づくり（町家プロジェクト）（うち 6,163 千円）

西条酒蔵通りの町家における学生の DIY 活動等の定期的な企画や大学での実施を通じて人材育成を促進し、学生の活動拠点形成や学生の活動を中心とした賑わいの創出を図る。

（概要）

- ・所在地 東広島市西条本町 8-11
- ・建物構造 木造瓦葺 2 階建
- ・延床面積 304.13 ㎡
(1 階 155.37 ㎡ 2 階 148.76 ㎡)



（西条酒蔵通りの町家）

(7) 学生企画イベントの実施

学生が本市をフィールドとして、活動企画・実践を通して自らの成長を図るとともに、こうした活動をまちの活力につなげていくため、学生自らが企画した活動を実践するためのノウハウを学んでいく。



（夏休み町家企画イベント）

(1) 多様な主体と連携した地域振興イベントの実施

酒蔵との連携、SDG s パートナーとの連携などにより、地域振興に資する様々な企画を催し、学生の企画立案能力の向上を目指すとともに、アントレプレナーの表現の場とする。

- ・シェアサイクル、フードドライブ、蔵開きイベント内の企画など

【活動指標】

町家を活用した定期的な企画実施 年 15 回

(ウ) 学生による DIY 改修

広島大学工学部・教育学部の学生を中心として、市内 3 大学の希望学生により、現地実測、居間の改修など、学生が自らものづくりに関わる DIY による改修を行う。

(イ) 授業での活用

広島大学において、「地域おこし実習」などの授業で活用するほか、ワークショップの開催、「建築設計製図」などの授業で古民家の測量、製図を行い、アントレプレナーや建築学分野での人材育成を図る。



（蔵開き町家企画イベント）

事業の概要

イ 学生の地域活動の促進（うち 2,330 千円）

大学・学生と地域との交流・連携を促進し、学生の成長や学生の地域への愛着を促進するため、学生が地域での様々な活動や体験が可能となる機会の創出を図るとともに、地域で主体的に活動するための支援を行う。

(ア) 地域体験ツアーの実施

学生が地域や地域活動に興味関心を持つきっかけとなる地域体験ツアーを開催する。
(年 4 回程度)



(豊栄スクール 藁縄リースづくり)

(イ) 学生の主体的な活動への支援

学生の主体的な地域活動を促進するため、本市をフィールドとした学生の活動を支援する。

・補助率：10/10 以内（上限額：50 千円）

(ロ) 学生ローカルパートナー制度

地域をフィールドにして学生と地域との連携による活動を行う学生団体を「学生ローカルパートナー」として認定し、伴走的な支援を行う。

ウ 学生と地域とのコーディネート機能の充実（うち 4,174 千円）

学生と地域との連携促進を図るため、地域ニーズなどの情報収集・情報発信を行うとともに、シンポジウムの開催などを通じて地域課題と学生の地域活動のマッチングなどを行う。



(コーディネーターによる相談対応)



(シンポジウムの開催)

エ 大学と地域との融合促進（うち 2,567 千円）

(ア) 地域と大学との交流を促進する活動への支援

本市の学園都市づくりへの市民参画を促すため、大学等が主催する地域と大学の一体感の醸成が期待されるイベントを支援する。

また、大学や学生が開催するイベント等に関する広報支援を行う。

(イ) 学生等に向けた情報提供の充実

学生の地域活動支援等や暮らしに関する情報提供を行うとともに、新入生に対し、本市の魅力を伝えるための情報誌の配布を行う。

また、学生と地域とのつながりを促進させるための活動について、学生等に広く周知するためのパンフレットを作成、配布する。

【活動指標】 コーディネートした学生活動数 30 件

学生ローカルパートナー 10 団体程度

その他イベント開催等への支援、広報協力、相談受付など

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活気づくり	施策	2 多様な市民の力が輝くまちづくり
施策の将来の目標像	国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら、あらゆる場面で活躍をしています。また、転出者を含め、市外に暮らす方々も、東広島市に愛着を持ち、何らかの関わりを持ちながら本市の活気づりに寄与しています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値
	人口の社会増加数	364人/年 (H22～30年度の平均)	400人/年

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 移住・定住の促進とにぎわいや交流の創出	主管部局・所属	地域振興部 地域づくり推進課
関係部局・所属	建設部	災害河港課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら本市の活気づりに寄与する。	現状	特に人口減少地域において高齢化・人口減少が進み、活力が失われつつある。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
移住検討者に対し地域の魅力を効果的に発信し、多様化するニーズに応じた相談体制を構築すること	人口減少地域への移住・定住の促進		高	1
海岸地域の魅力の発信を効果的に行い、賑わいや消費、交流の起点となる場所を整備すること	海を活かしたにぎわい創出機能の形成		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(ア) 定住サポートセンターへの移住相談件数	31 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	54	56	58	56 (R6)	件
(イ) 定住サポートセンター相談者の移住世帯数	8 (H30)		27	28	29	28 (R6)	世帯
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	5 年度		33,288			
			24,068			
	6 年度		30,238			
			25,288			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	2 多様な市民の力が輝くまちづくり	② 移住・定住の促進とにぎわいや交流の創出

事業の概要			
戦略	1 人口減少地域への移住・定住の促進	予算 26,132 千円	前年度 26,045 千円
事務事業	1-1 移住促進広報事業	予算 4,354 千円	前年度 4,270 千円

内容

1-1_移住・定住の促進に向けた情報発信

- ① 移住促進特設ウェブサイト等による移住関連情報の発信
(3,965 千円 (前年度 3,891 千円))

移住を検討する方々に向けて、情報媒体の製作を行う。また、移住促進特設ウェブサイトを更新・運営し、ウェブ広告配信を活用する等、本市の魅力を発信する。



移住促進特設ウェブサイト（風と自由と東広島）のトップページ

- ② 広島県交流・定住促進協議会等と連携した定住フェア等による移住関連情報の発信 (389 千円 (前年度 379 千円))

広島県、広島県交流・定住促進協議会、広島広域都市圏と連携し、東京における定住フェア・セミナーにおいて移住検討者に対し本市の魅力を発信する。



定住フェアの様子

事業の概要			
戦略	1 人口減少地域への移住・定住の促進	予算 26,132 千円	前年度 26,045 千円
事務事業	1-2 移住者等支援事業	予算 21,778 千円	前年度 21,775 千円
内容			
1-2_移住・定住の促進に向けた支援			
① 定住サポートセンターによる総合相談窓口の運営 (178 千円 (前年度 175 千円))			
移住検討者が求める住まい、仕事、子育てなどの情報提供や相談をワンストップで受け付け、関係部局と連携し相談内容の解決を図る。			
② 移住者等に対する各種補助金の交付 (21,600 千円 (前年度 21,600 千円))			
ア 移住支援金の交付 (うち 6,600 千円)			
デジタル田園都市国家構想交付金制度を活用し、東京圏から市内に移住し、かつ市内へ就業に至った者または起業等をする者に対し支援金を交付する。			
【支援金 (定額)】: 単身世帯 60 万円、2 人以上世帯 100 万円、子育て加算 100 万円 (18 歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は 18 歳未満の者一人につき加算)】			
【活動指標】: 単身世帯 1 件、2 人以上世帯 2 件			
イ 移住者等創業支援事業補助金の交付 (うち 15,000 千円)			
人口減少地域における産業の活性化及び定住の促進を図るため、移住者又は移住予定者 (市内の人口減少地らの転居者も含む) が、市内人口減少地域において新たに創業する場合に、店舗、事務所等の改修費、設備費、備品購入費の一部を補助する。			
【補助率及び補助限度額】: 1/2、300 万円			
【活動指標】: 5 件			
			
専門技術サービス業 (車のコーティング)		飲食業	
移住者等創業支援事業補助金 採択事業			

事業の概要						
戦略	2	海を活かしたにぎわい創出機能の形成	予算	4,106 千円	前年度	7,243 千円
事務事業	2-1	港湾沿岸地域再編事業	予算	4,106 千円	前年度	7,243 千円

内容

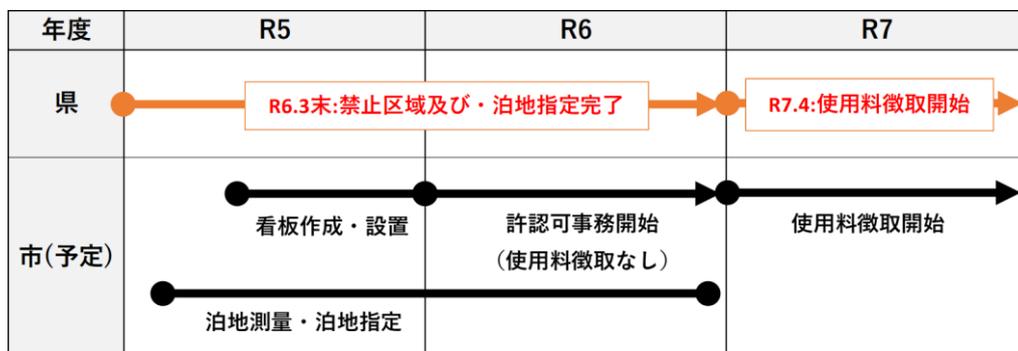
2-1_港湾周辺施設の整備

① 放置艇対策業務

(4,106 千円 (前年度 7,243 千円))

港湾沿岸地域の適正な利用を推進するため、プレジャーボートの所有者に対して許認可の申請を通知し、許認可事務を始める。

放置艇対策スケジュール



令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	3 都市成長基盤の強化・充実
施策の将来の目標像	東広島市の中心地は、市の玄関口として市内外から人びとが集い、憩い、多様な活動が繰り広げられるエリアとなっています。また、各地域では良好な景観が形成され、市民の郷土への誇りや愛着が育まれています。さらに、企業が活発な研究開発と生産活動を展開できる産業用地が確保され、都市としての活力の源となる新たなビジネスが創出される基盤が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	新たに確保した産業用地の面積 (計画期間累計)	0 ha	10 ha

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① にぎわいと魅力ある都市空間の形成	主管部局・所属	都市部 都市計画課
関係部局・所属	総務部	政策推進監	産業部
	産業部	産業振興課	ブランド推進課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	交通結節点となる西条駅や、特徴的な景観を有する酒蔵地区、プールパル通り沿いに立地する多様な施設を活かし、魅力ある中心市街地の形成を図る。	現状	中心市街地の人通りが少なく、賑わいや活気がない。	
課題	→	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
散策しなくなる・歩いて楽しめるコンテンツの不足		中心市街地の賑わい創出	中	1
交流・イベント・スポーツ・文化活動等、多様な用途に活用できる自由度の高い場所が少ない		中心市街地の公有地デザイン	中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(ア) 酒蔵地区の観光客数 (西条酒蔵通り観光案内所の来訪者数)	30,945 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	31,000	32,000	33,000	36,000 (R10)	人
(イ)	()					()	
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 5 年度			38,991			
			19,065			
R 6 年度			73,336			
			35,336			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	8・5・1 景観形成事業	都市計画課	2.50	28,488	46,890
2-1	2・1・7 プロジェクト推進事業	政策推進監	2.00	10,503	26,446
合計			4.50	38,991	73,336

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	3 都市成長基盤の強化・充実	① にぎわいと魅力ある都市空間の形成

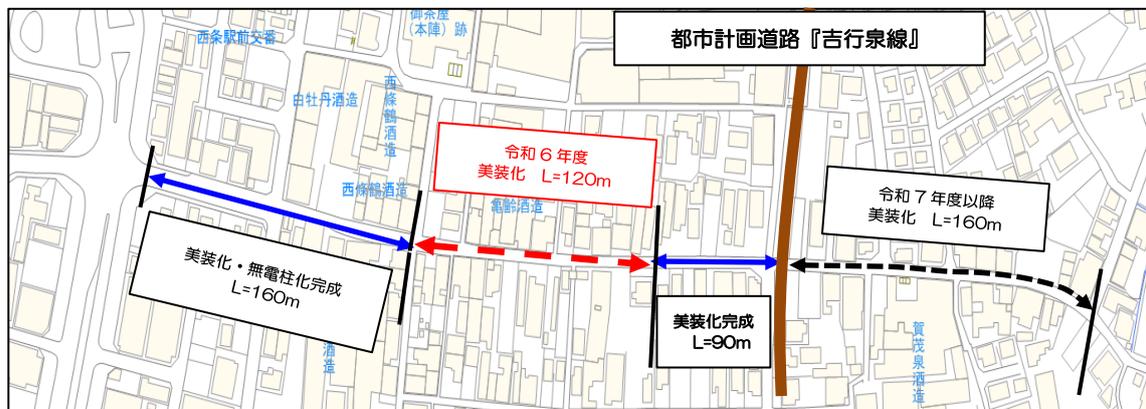
事業の概要				
戦略	1 中心市街地の賑わい創出	予算	46,890 千円	前年度 28,488 千円
事務事業	1-1 景観形成事業	予算	46,890 千円	前年度 28,488 千円

内容

1-1_景観を活かしたまちづくりの推進

① 西条本通線の美装化（42,000 千円（前年度 23,600 千円））

酒蔵地区の街並みと調和した景観保全のため、西条本通線の美装化を進める。



整備前



整備後



(ブルバール～朝日町1号線)

② 酒蔵地区の景観形成（4,014 千円（前年度 4,014 千円））

酒蔵地区における登録文化財や歴史的建造物などについて、景観形成事業補助金により支援を行う。

【活動指標】

景観形成事業補助金交付件数（累計）：10 件 → 12 件

③ 白市地区の景観形成（876 千円（前年度 874 千円））

歴史的な街並みが残る白市地区の交流拠点である白市交流会館を管理運営することなどにより、地域の賑わい創出と地域の活力向上を図る。

事業の概要				
戦略	2 中心市街地の公有地デザイン	予算	26,446 千円	前年度 10,503 千円
事務事業	2-1 プロジェクト推進事業	予算	26,446 千円	前年度 10,503 千円
内容				

2-1_プロジェクトの推進

① 大屋根広場の整備 (26,146 千円 (前年度 6,349 千円))

中央生涯学習センター跡地及び周辺公有地の活用にあたり、策定中の「東広島市中央生涯学習センター跡地等活用基本計画」を踏まえ、大屋根広場(事業費：約 9.4 億円)の整備に向けた取組を進める。

ア 大屋根広場整備に向けたアドバイザリー業務 (25,652 千円)

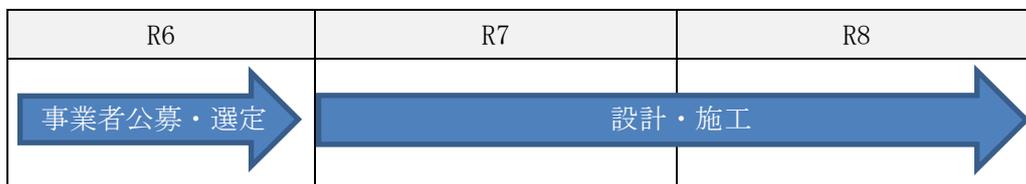
大屋根広場整備の設計施工一括発注方式での契約締結に向け、実施方針の準備段階から契約締結までの金融・法務・技術面における実務的支援に係る業務を委託する。

イ 大屋根広場整備設計施工一括工事業業者選定審査委員会 (162 千円)

選定審査委員会委員への報酬や旅費

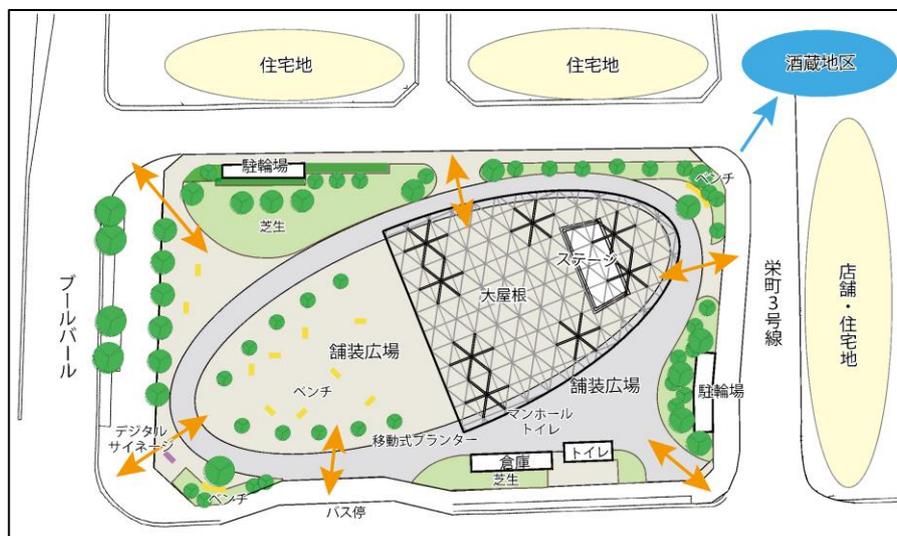
ウ 大屋根広場整備に係る先進地事例視察に係る旅費等 (332 千円)

<事業スケジュール (大屋根広場の整備)>



② その他 (300 千円 (前年度 4,154 千円))

ア 中央生涯学習センター跡地維持管理に係る修繕費 (300 千円)



■大屋根広場 (中央生涯学習センター跡地) 整備イメージ

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	3 都市成長基盤の強化・充実
施策の将来の目標像	企業が活発な研究開発と生産活動を展開できる産業用地が確保され、都市としての活力の源となる新たなビジネスが創出される基盤が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	新たに確保した産業用地の面積 (計画期間累計)	0ha	10ha

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 新たな産業基盤の整備	主管部局・所属	産業部	産業振興課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	研究開発と生産活動が展開できる産業用地の確保	現状	企業の用地確保ニーズがある	
課題	→	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
企業が立地できる新たな用地が不足している		新たな産業基盤の整備	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 着工予定の産業用地の面積(計画期間累計)	0 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	35.5	37.5	39.5	累計37.5 (R6)	ha
(4) 新たに確保した産業用地の面積(計画期間累計)	0 (R1)		44.6	46.6	48.6	累計46.6 (R6)	ha
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 5 年度			48,502			
			46,502			
R 6 年度			171,531			
			99,469			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	7.1.3 産業用地環境整備事業	産業振興課	2.00	48,502	171,531
合計			2.00	48,502	171,531

6-1 事業費の分析 (当初「R5年度当初予算額」「R5年度決算額」)		
6-2 成果指標の分析 (効果指標の達成率等)		
6-3 取組の分析		
① 事業の目的・対象・手段 ② 実施主体・実施内容 ③ 実施場所・実施期間 ④ その他	⑤ 事業の概要 ⑥ 事業の進捗状況 ⑦ 事業の成果	
6-4 効果評価		
6-5 その他		
6-6 今後の見込み及び取組方針		

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	3 都市成長基盤の強化・充実	② 新たな産業基盤の整備

事業の概要					
戦略	1	新たな産業基盤の整備	予算	171,531 千円	前年度 48,502 千円
事務事業	1-1	産業用地環境整備事業	予算	171,531 千円	前年度 48,502 千円
内容					

1-1_産業用地確保の取組み

① 産業基盤の整備（171,531 千円（前年度 48,502 千円））

【新】ア 産業用地の整備促進（うち 30,000 千円）

(ア) 市主体の産業団地の整備に向け、開発候補地の絞込みや調査を行った上で、基本設計等に着手する。

(イ) 新たに産業団地整備を行う民間事業者に対し、整備に係る各種支援を行う。

○制度の概要

- ・要件を満たす産業団地開発を実施する事業者に対し支援を行う。

（対象要件及び支援内容）

対象要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ I C 周辺半径 2 km 圏内で、分譲面積が概ね 3 ha 以上であること ・ 複数社への分譲を予定している開発計画であること
支援内容	<p>①立地企業の確保に係る支援 立地企業の確保について市が支援を行う。</p> <p>②造成費用に対する一部補助 市に帰属する道路などインフラ整備部分について、整備費用の一部を補助する。</p> <p>③地域未来投資促進法活用の支援 地域未来投資促進法に係る計画策定を支援し、市街化調整区域への立地や農地転用について特例的取扱いを可能とする。</p>

イ 産業用地環境整備助成金（140,125 千円（前年度 0 千円））

民間遊休地等を活用して新たに設備投資を行う企業に対して支援する。

○制度の概要

助成金区分	産業用地拡充型	大規模投資促進型
対象要件	5,000 m ² 以上の民間遊休地を新規に購入または賃借し、自社で事業を行うための工場等を建設する者	対象用地内（既存敷地含む）で 10 億円以上の投資を行う者
助成率	25/100	50/100
上限額	5,000 万円 ※開発許可等を伴う場合は 1 億円	
対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地の造成 ・ 既存建物等の撤去 ・ 進入路の整備 ・ インフラ整備（電気・上下水の引込み等） 	

産業用地環境整備助成金：2 件

※助成金の交付時期を造成工事終了後から操業開始後に変更した。これに伴い、令和 5 年度において助成金交付対象となる企業がなかったため前年度予算額は 0 円となっている。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活気づくり	施策	4 交通ネットワークの強化
施策の将来の目標像	鉄道や路線バス、広島空港など広域移動も見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続されています。日常生活において公共交通の重要性・必要性が広く市民に再認識されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	国県道整備率	15.0%	39.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 公共交通ネットワークの強化・充実	主管部局・所属	地域振興部 地域政策課
関係部局・所属	河内支所 地域振興課	安芸津支所	地域振興課
	都市部 都市整備課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	広域移動を見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続	現状	高い自動車分担率が続き、公共交通利用が低迷、交通事業収益が悪化	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
都市の拠点性・経済循環を支える交通機能の不足 乗りこさ(運賃、路線本数)、交通事業者の収益性の悪化	公共交通機能の強靱化による利便性の向上		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	終期目標値 (年度) 達成率			単位
			R5	R6	R7(参考値)	
(7) 1日当たりJR乗車人員	23,617 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	25,551	25,600	25,600	人
(4)	()				()	
(5)	()				()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年 度	当初予算額	決算額	人件費
		一般財源	一般財源	
R 5 年 度		1,423,567		
		300,042		
R 6 年 度		2,472,091		
		366,005		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	2・1・7 公共交通網形成事業	地域政策課	3.00	321,401	347,468
1-2	2・1・7 公共交通網形成事業(河内支所)	河内支所地域振興課	0.30	5,488	5,702
1-3	2・1・7 公共交通網形成事業(安芸津支所)	安芸津支所地域振興課	2.10	7,336	8,834
1-4	8・5・2 交通結節点改善事業	都市整備課	2.07	1,089,342	2,110,087
合計			7.47	1,423,567	2,472,091

決算時記載

概要シート

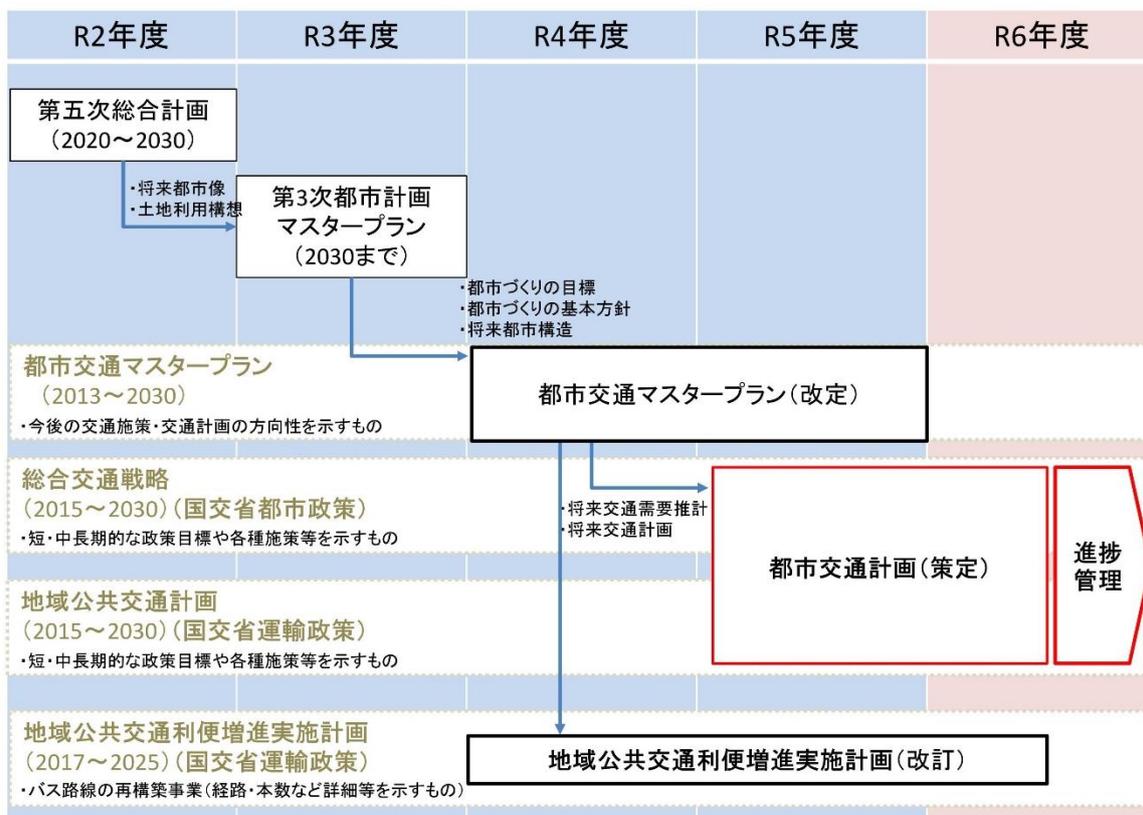
まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	4 交通ネットワークの強化	① 公共交通ネットワークの強化・充実

事業の概要				
戦略	1 公共交通機能の強靱化による利便性の向上	予算	2,472,091 千円	前年度 1,423,567 千円
事務事業	1-1 公共交通網形成事業	予算	347,468 千円	前年度 321,401 千円
内容				
1-1_公共交通網の形成				
<p>① 交通結節機能の強化と空港対策（112,950 千円（前年度 101,238 千円））</p> <p>ア バス交通結節点の整備・維持管理（うち 96,825 千円） 利便性と路線再編による運行効率の向上を図るため、バス交通結節点の整備・維持管理を行う。</p> <p>(ア) 黒瀬地区交通結節点（うち 91,657 千円） 待合施設建築工事、修正設計、整備予定地維持管理等</p> <p>イ 空港対策（広島空港整備事業負担金）（うち 10,443 千円） 県、隣接自治体と連携を図り、広島空港の滑走路端安全区域の整備等、空港機能の改善及び維持に係る整備費を負担する。</p> <p>ウ 海路対策（うち 5,682 千円） 安芸津港～大西港（大崎上島町）運航に係る支援を行う。</p> <p>② 鉄道輸送の強化（15,360 千円（前年度 14,801 千円））</p> <p>ア 寺家駅の維持管理（うち 15,210 千円） 駅の待合環境と快適性の向上を図るため、適正な管理を行う。</p> <p>③ バス交通の維持・強化（192,238 千円（前年度 196,362 千円））</p> <p>ア 市内路線バス運行経費に対する支援（うち 188,938 千円） 本市の移動の骨格である幹線交通を支えるため、路線バス交通事業の維持・強化を図る。</p> <p>イ 東広島市都市交通計画の進捗管理（うち 3,300 千円） 令和 6 年度策定（予定）の東広島市都市交通計画における交通施策の進捗管理・運営マネジメントの構築を図る。</p>				

事業の概要

④ 東広島市都市交通計画の策定（11,680 千円（前年度 9,000 千円））

改定した都市交通マスタープランに即して、東広島市都市交通計画の策定を行う。



【新】⑤ 地域交通の「共創」への取組み（13,740 千円）

現在、公共交通利用者の減少や運転手不足が顕著であり、地域交通自体の維持が困難となっている。持続可能な地域交通を将来にわたり構築するため、他分野の交通と連携した地域交通の「共創」の取組みについて検討を行っていく。

ア 共創モデル先行事業（うち 10,000 千円）

広島国際大学と交通事業者、市でコンソーシアムを立ち上げ、黒瀬地区における大学スクールバスと公共交通（路線バス）との共創について検討を行う。

イ 共創モデル構築事業（うち 3,740 千円）

各地域の現状分析や他分野の移動と連携した取組みの検討を行う。

例) 路線バス、地域公共交通、スクールバス及び企業送迎バスとの共創（連携）など

【新】⑥ （仮称）都市交通シンポジウムの開催（1,500 千円）

一般市民を対象に公共交通に対する機運醸成を図るため、シンポジウムを開催する（モビリティ・マネジメントの推進）。

事業の概要						
戦略	1	公共交通機能の強靱化による利便性の向上	予算	2,472,091 千円	前年度	1,423,567 千円
事務事業	1-2	公共交通網形成事業(河内支所)	予算	5,702 千円	前年度	5,488 千円
内容						
1-2_公共交通網の形成(河内支所)						
① 広島空港周辺対策(5,702 千円(前年度 5,488 千円))						
ア 広島空港周辺整備						
<p>空港周辺環境の配慮を講じるため、県と連携を図り、周辺地域の住宅への空調対策、道路等安全対策・周辺環境保全、公共施設を活用した地域振興策を進める。</p>						

事業の概要						
戦略	1	公共交通機能の強靱化による利便性の向上	予算	2,472,091 千円	前年度	1,423,567 千円
事務事業	1-3	公共交通網形成事業(安芸津支所)	予算	8,834 千円	前年度	7,336 千円
内容						
1-3_公共交通網の形成(安芸津支所)						
① 安芸津駅の維持管理(8,834 千円(前年度 7,336 千円))						
<p>駅の待合環境と快適性の向上を図るため、適正な管理を行う。</p>						

事業の概要					
戦略	1	公共交通機能の強靱化による利便性の向上	予算	2,472,091 千円	前年度 1,423,567 千円
事務事業	1-4	交通結節点改善事業	予算	2,110,087 千円	前年度 1,089,342 千円

内容

1-4_駅周辺の交通結節点の改善

住民や近隣教育機関の学生・生徒が多く利用する西高屋駅舎の橋上化に合わせ、公衆トイレや情報ラウンジ等の整備を行い西高屋駅周辺の賑わいや活力の創造を図る。

- ① 西高屋駅の機能強化のための南北自由通路や駅前広場の整備
(2,109,227千円(前年度1,089,342千円))

南北自由通路や駅前広場の整備等により、駅へのアクセス性向上及びバリアフリー化を図るとともに、交通結節点機能の改善を行う。

【活動指標】

南北自由通路及び駅舎整備、北口駅前広場整備、用地補償
進捗率 97% (事業費ベース)

■事業スケジュール

	R4	R5	R6	R7
<ul style="list-style-type: none"> ・西高屋駅南北自由通路 延長110m 幅員 4m ・西高屋北口駅前広場 ・西高屋駅橋上化及び・情報ラウンジ等 			用地取得、 工事、JR委託	→

完成イメージ (北口広場側)



令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	4 交通ネットワークの強化
施策の将来の目標像	鉄道や路線バス、広島空港など広域移動も見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続されています。日常生活において公共交通の重要性・必要性が広く市民に再認識されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	国県道整備率	15%	39%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 高規格幹線道路及び幹線道路交通網の整備	主管部局・所属	都市部	都市計画課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	東広島市の慢性的な交通渋滞の解消を図り、産業活動や広域連携の強化につながる幹線道路交通網を形成する。	現状	市中心部の拠点性の高まりにより、交通量が増加し、慢性的渋滞が発生しており、広域利便性を生かした産業活動や広域連携に支障が出ている。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
高規格幹線道路網及び幹線道路網の整備が遅れている。	国・県幹線道路整備の取組み		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 国県道路整備率	15 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	39	39	39	39 (R6)	
(イ)	()					()	
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年 度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	5 度		70,087			
			15,887			
	6 度		70,153			
			15,853			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	8.5.1 国・県幹線道路整備事業	都市計画課	1.50	70,087	70,153
合計			1.50	70,087	70,153

<p>① 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>② 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>③ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>④ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑤ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑥ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑦ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑧ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑨ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑩ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑪ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑫ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑬ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑭ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑮ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑯ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑰ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑱ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑲ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>⑳ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉑ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉒ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉓ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉔ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉕ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉖ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉗ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉘ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉙ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉚ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉛ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉜ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉝ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉞ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㉟ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊱ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊲ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊳ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊴ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊵ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊶ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊷ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊸ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊹ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊺ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊻ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊼ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊽ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊾ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					
<p>㊿ 国庫補助金の交付（国庫補助金交付法）</p>					

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	4 交通ネットワークの強化	② 高規格幹線道路及び幹線道路交通網の整備

事業の概要				
戦略	1 国・県幹線道路の取組み	予算	70,153 千円	前年度 70,087 千円
事務事業	1-1 国・県幹線道路整備事業	予算	70,153 千円	前年度 70,087 千円

内容

1-1_国・県幹線道路整備の促進

慢性的な交通渋滞を解消し、産業活動や広域連携の強化を図るため、広域的な道路ネットワークとなる幹線道路の整備促進を図る。

① 幹線道路整備の推進（753 千円（前年度 753 千円））

国・県幹線道路の整備を推進する期成同盟会の活動費を負担する。

② 広島県が整備する幹線道路事業の促進（69,400 千円（前年度 69,334 千円））

広島県が市内で整備する国県道に係る整備費の一部を、県条例の規定により負担する。

都市計画道路 上寺家下見線、吉行飯田線

◎都市計画道路上寺家下見線



中央巡回線～西条西交差点



蓮華寺橋～中央巡回線

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	5 環境に配慮した社会システムの構築
施策の将来の目標像	地球規模の環境問題等に対応できる次世代環境都市の構築が進展し、環境と調和した潤いのある地域が形成されています。また、構築の過程で生み出されたシステムや成果が、市民の暮らしづくりに効果的に活用されています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H25年度）	目標値（R6年度）
	市内の温室効果ガス総排出量	2257.5千t-CO2	1877.7千t-CO2

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 環境に配慮した社会システムの構築	主管部局・所属	生活環境部 環境先進都市推進課
関係部局・所属	財務部	管財課	生活環境部 廃棄物対策課
	産業部	農林水産課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	次世代型の環境都市の構築	現状	地球温暖化対策等に対する取組みが求められている。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	気候変動の経協緩和と適応	脱炭素化の推進と強靱化	高	1
	将来像の共有と取組をサポートするシステムづくり	S-TOWNプロジェクトの推進	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) イベント等を通じて環境意識が高まった市民の割合	68.5 (R4)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	80.0	90.0	90.0	90.0 (R6)	%
(4) 再生可能エネルギー導入容量	22.0 (R1)		24.6	27.1	27.5	27.1 (R6)	万kW
(7)						()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度	年度	75,041				
	年度	74,501				
R6年度	年度	193,001				
	年度	49,668				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	2・1・6 庁舎等脱炭素推進事業	管財課	0.10	25,889	25,889
1-2	4・1・4 脱炭素化等支援事業	環境先進都市推進課	5.26	42,266	163,216
2-1	4・1・4 S-TOWNプロジェクト推進事業	環境先進都市推進課	2.76	6,886	3,896
合計			8.12	75,041	193,001

R5 当初予算の分析（前期比）		R6 当初予算の分析（前期比）	
R5 決算額の分析（結果前回の予算対比率）		R6 決算額の分析（結果前回の予算対比率）	
<p>0 総合評価</p> <p>1 各部署の経理状況の把握</p>			
<p>2 決算時記載</p>			
R5 決算額の分析（結果前回の予算対比率）		R6 決算額の分析（結果前回の予算対比率）	
<p>3 各部署の経理状況の把握</p>			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	5 環境に配慮した社会システムの構築	① 環境に配慮した社会システムの構築

事業の概要					
戦略	1	脱炭素化の推進と強靱化	予算	189,105 千円	前年度 68,155 千円
事務事業	1-1	庁舎等脱炭素推進事業	予算	25,889 千円	前年度 25,889 千円

内容

1-1_庁舎等の脱炭素化の推進と強靱化

① 庁舎等の脱炭素化の推進 (25,889 千円 (前年度 25,889 千円))

市域の温室効果ガス排出量の削減に向け、市が先行的に取組みを実施することで、その効果を市域全体へ広げ、持続可能な環境都市の実現を目指す。

ア 福富支所を中心とした脱炭素先行地域の形成

- ・ESCO 事業により、省エネルギー化を目的とした各種設備を導入・運用するとともに、停電時における支所機能の 72 時間維持を図る。

(事業期間：令和 4～14 年度)

ESCO 事業による導入設備
空調設備、非常用発電設備、太陽光発電設備、蓄電池、LED照明

<ESCO 事業とは>

Energy Service Company の略称で、設備の高効率化により光熱費の削減を進めていく事業のこと。

事業の概要					
戦略	1	脱炭素化の推進と強靱化	予算	189,105 千円	前年度 68,155 千円
事務事業	1-2	脱炭素化等支援事業	予算	163,216 千円	前年度 42,266 千円
内容					
1-2_地域脱炭素化の推進と強靱化					
① 脱炭素化に向けた取組みの実装 (162,776 千円 (前年度 39,406 千円))					
ア ESCO 事業の推進 (地域センター)					
寺西地域センター、板城地域センター、三永地域センターの空調設備、照明機器等更新及び維持管理による省エネ化					
事業費：令和 6 年～令和 16 年 175,000 千円					
イ 二酸化炭素排出抑制対策事業補助金の交付 (うち 143,034 千円)					
市民、事業者を対象に脱炭素化に向けた複合的な取組を行うことで、本市の脱炭素化を加速させるとともに災害に対する強靱化を図る。					
【活動指標】 対象：市民 (人口減少地域)					
支援内容		補助率等	令和 5 年度実績	令和 6 年度見込	
太陽光発電設備		補助対象経費の 1/3 70 千円/kW	5 件	25 件	
【活動指標】 対象：市民 (人口減少地域外)					
支援内容		補助率等	令和 5 年度実績	令和 6 年度見込	
太陽光発電設備		補助対象経費の 1/3 50 千円/kW	9 件	74 件	
【活動指標】 対象：事業者					
支援内容		補助率等	令和 5 年度実績	令和 6 年度見込	
太陽光発電設備		補助対象経費の 1/3 50 千円/kW 上限：1,000 千円	3 件	14 件	
定置用リチウムイオン蓄電システム		補助対象経費の 1/3 50 千円/kWh 上限：1,000 千円	0 件	4 件	
高効率空調設備		補助対象経費の 1/2 上限：500 千円	7 件	4 件	
調光機能付き LED		補助対象経費の 1/2 上限：500 千円	0 件	1 件	
【活動指標】 対象：小中学校屋内運動場					
支援内容		補助率等	令和 5 年度実績	令和 6 年度見込	
高効率空調設備 太陽光発電設備等		(高効率空調設備) 補助対象経費の 1/2 (太陽光発電設備、蓄電池) 補助対象経費の 1/3	—	3 校	

事業の概要



屋内運動場空調設備



太陽光発電設備

ウ スマートオフィス・スマートファクトリー化の推進（うち 4,653 千円）

主に市内中小事業者を対象に、CO2 排出量の削減を推進するため、簡易 CO2 ポテンシャル診断、省エネアドバイス、設備改修等に関する補助金申請をサポートする業務を委託する。

【活動指標】

支援内容	令和 5 年度見込	令和 6 年度見込
省エネ・創エネ 相談支援等	20 件	20 件
補助金申請業務等	2 件	3 件

エ 再エネポテンシャルの調査（うち 2,826 千円）

市有施設のうち CO2 排出量の多い施設で、太陽光発電設備を一定以上設置可能と見込まれる施設のうち、令和 7 年度以降に太陽光発電設備等の導入を目指す施設のポテンシャル調査を実施する。

オ スマートハウス化支援補助金の交付（うち 12,118 千円）

市民を対象に、省エネ・創エネの推進や災害時の強靱化を目的に蓄電池等の導入支援を行う。

【活動指標】

支援内容	補助率等	令和 5 年度実績	令和 6 年度見込
定置用リチウム イオン蓄電システム	補助対象経費の 1/10 上限：12 万円	147 件	90 件
家庭用燃料電池 システム	補助対象経費の 1/10 上限：8 万円	2 件	5 件
電気自動車 充電設備	補助対象経費の 1/10 上限：10 万円	11 件	9 件

カ 環境価値（J-クレジット）の啓発（うち 145 千円）

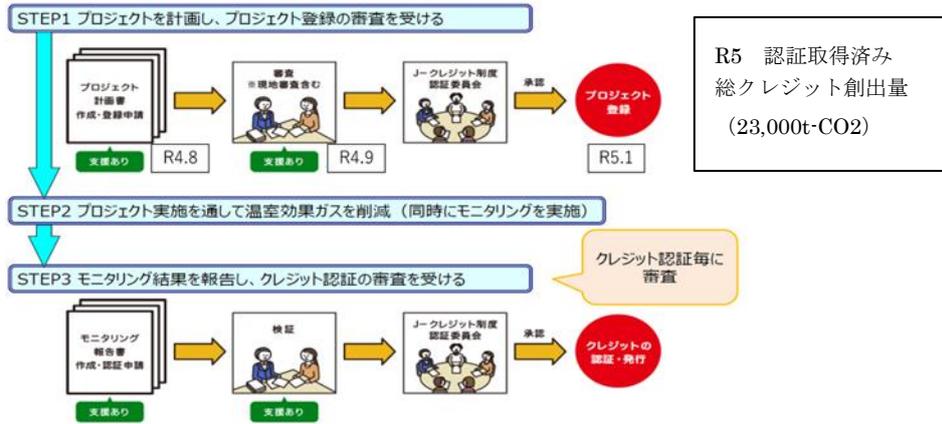
市内で生み出される創エネ等の環境価値を積み上げると共に、市内事業者等に対し制度の周知、浸透を図る。

(7) 市民等が太陽光発電設備や省エネ設備等を導入したことによる CO2 削減量をクレジット化

事業の概要

【再エネクレジットの創出スケジュール】

J-クレジット制度への登録、認証の大まかな流れ（再エネ）



Jクレジット創出量 (t-CO₂) 及び価値化シュミレーション

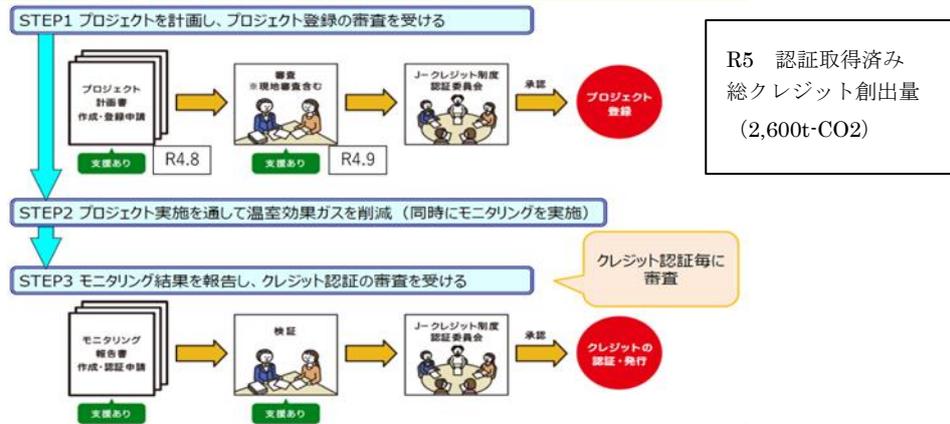
再エネ（蓄電池） 年間新規：150世帯 世帯毎の計画期間：10年間 ※1：クレジット価値 3千円/t-CO₂ ※2：クレジット化経費 検証委託費+報告書作成=2,069千円

	(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		単年クレジット創出量	(t-CO ₂)	90	327	436	545	654	763	873
累計クレジット創出量	(t-CO ₂)	90	417	853	1,398	2,052	2,815	3,688	4,561	5,434
クレジット価値 ^{※1}	(千円)		270	1,251	2,559	4,194	6,156	8,445	11,064	13,683
(クレジット) 価値-経費 ^{※2}	(千円)		▲1,799	▲818	490	2,125	4,087	6,376	8,995	11,614

(1) 森林整備による CO₂ 吸収量をクレジット化

【森林クレジットの創出スケジュール】

J-クレジット制度への登録、認証の大まかな流れ（森林）



Jクレジット創出量 (t-CO₂) 及び価値化シュミレーション

森林 森林整備計画に基づく伐採・植林 ※1：クレジット価値 15千円/t-CO₂ ※2：クレジット化経費 検証委託費+報告書作成=4,004千円

	(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		単年クレジット創出量	(t-CO ₂)	65	125	211	211	211	182	182
累計クレジット創出量	(t-CO ₂)	65	190	401	612	823	1,005	1,187	1,369	1,551
クレジット価値 ^{※1}	(千円)		975	2,850	6,015	9,180	12,345	15,075	17,805	20,535
(クレジット) 価値-経費 ^{※2}	(千円)		▲3,029	▲1,154	2,011	5,176	8,341	11,071	13,801	16,531

② 脱炭素化に向けた取組みの実証（440千円（前年度2,860千円））

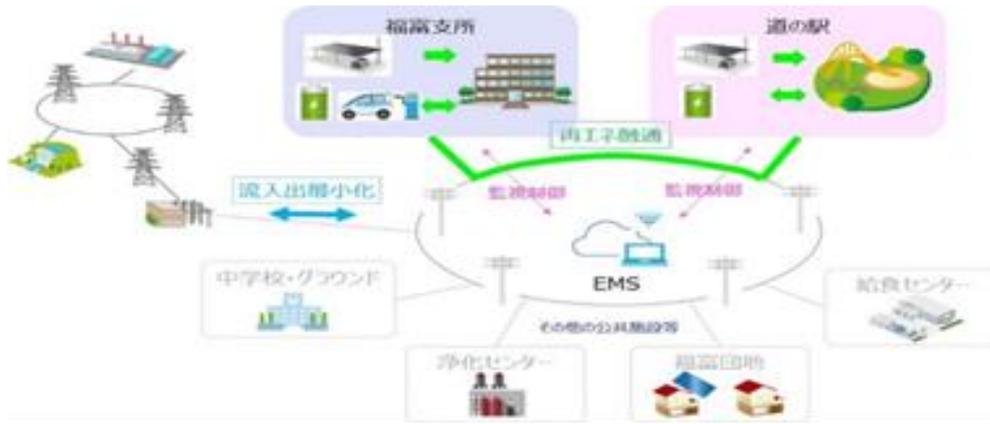
市域の温室効果ガス排出量の削減に向け、公共施設において市が先行的に取組を実施する。

ア エネルギーの面的融通の実証（うち440千円）

(ア) 福富支所と周辺公共施設の送配電網系統連携協議

(イ) 福富支所周辺公共施設を対象に試験研究機関等と実施

事業の概要



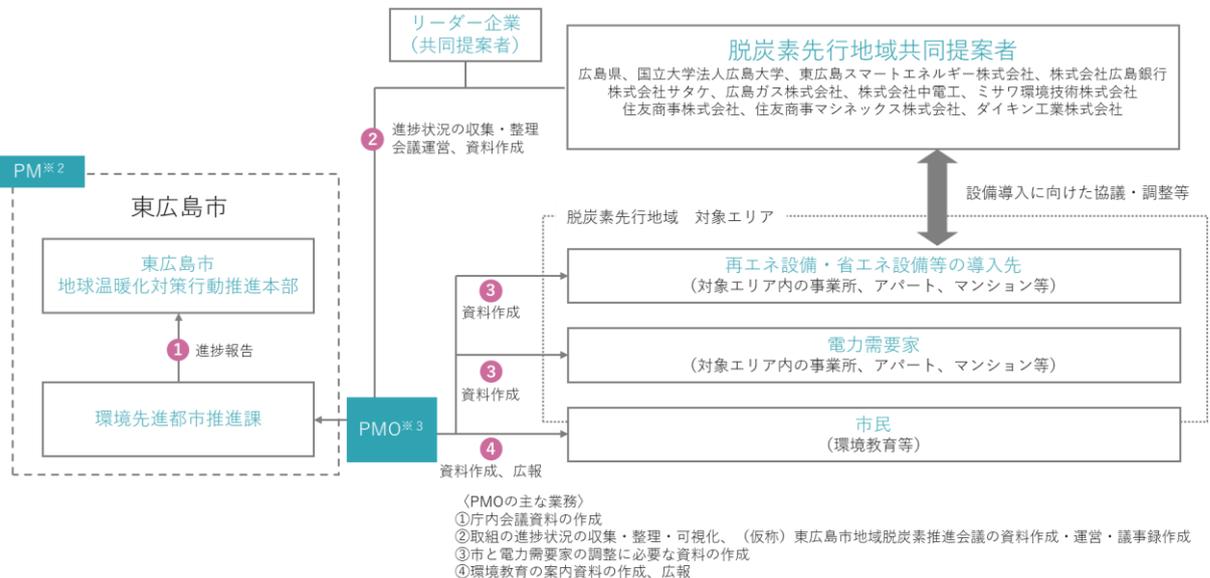
【実証スケジュール】

	2022年		2023年		2024年	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
EMS ^{※1} ソフト開発	→					
端末設置		→				
試験運転			→			
太陽光発電設備設置					→	
シミュレーション						→

※1 EMS：エネルギー管理システムの略。エネルギーの使用量を可視化し、運用を最適化するためのシステム

イ 大学、企業等と連携した地域脱炭素化の実現

(ア) 地域脱炭素形成に向けた協議体の設置及び運営検討

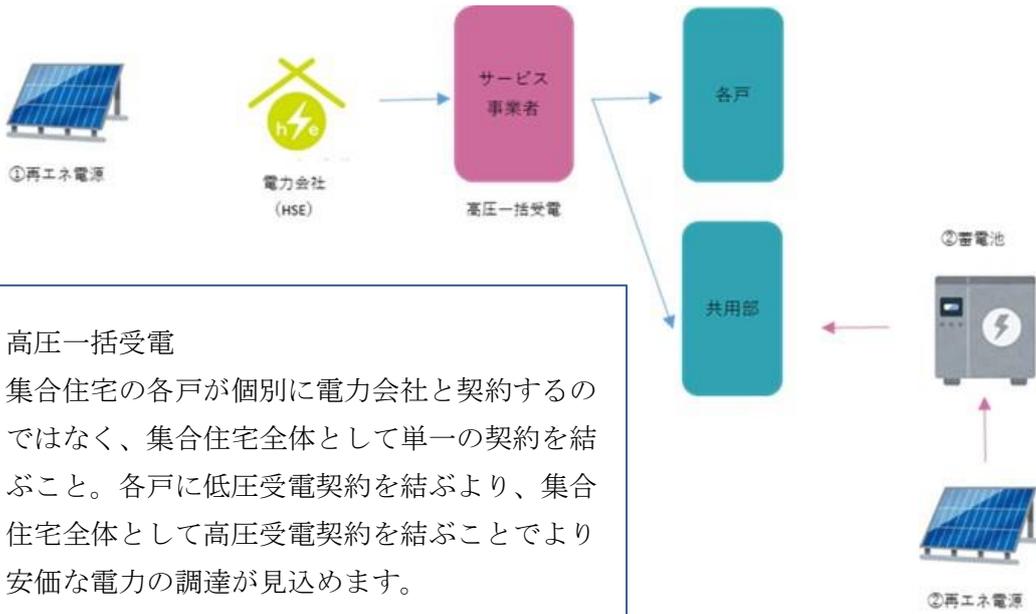


※2 PM：プロジェクトマネージャーの略。協議体の運営に責任を持ち、プロジェクトを円滑に推進させる役割を果たすプロジェクト管理者のこと。

※3 PMO：プロジェクトマネジメントオフィスの略。プロジェクトの状況把握、サブプロジェクト間の調整など、PMの支援を行う組織

(地域脱炭素形成体制図イメージ)

(1) 集合住宅の脱炭素化に向けた実証の検討



高圧一括受電

集合住宅の各戸が個別に電力会社と契約するのではなく、集合住宅全体として単一の契約を結ぶこと。各戸に低圧受電契約を結ぶより、集合住宅全体として高圧受電契約を結ぶことでより安価な電力の調達が見込めます。

(電気エネルギーの脱炭素化イメージ)

事業の概要					
戦略	2	S-TOWN プロジェクトの推進	予算	3,896 千円	前年度 6,886 千円
事務事業	2-1	S-TOWN プロジェクト推進事業	予算	3,896 千円	前年度 6,886 千円
内容					
2-1_S-TOWN プロジェクトの推進					
① S-TOWN プロジェクトチーム会議等の開催 (1,661 千円 (前年度 1,990 千円))					
企業・大学・市等連携するためのプロジェクトチーム会議を開催し、実現可能な事業の企画・検討を行う。					
【主な検討事項】					
○環境配慮型の災害に強いコミュニティの構築					
・再生可能エネルギーの導入推進や災害時の強靱化を推進し、大学、民間研究機関等とともに実証に向けた協議を進める。					
○環境教育プログラム（Web 版環境学習センター）の構築					
・市民の誰もが、いつでも自然環境や地球温暖化対策等を学び、環境に関する情報を入手できるよう、環境学習プログラム（Web 版環境学習センター）の構築を推進する。					
○市有施設での再生可能エネルギー発電の展開					
・再生可能エネルギーの導入促進を図るため、市有地等への発電設備の設置の検討のほか、遊休地や荒廃農地等の有効活用、既設太陽光の電力の面的融通等を推進できるよう、系統線を利用する P P A モデル等の活用を検討する。					
○食品残さリサイクルループの構築					
・資源循環の促進に向け、食品残さのたい肥化・資源化によるリサイクルループの構築を推進する。					
○市民主体の里山活用					
・持続可能な森林の管理・活用を進めていくことを目的に、木質バイオマス、教育やヘルスケア等での空間利用、マテリアル利用等を含む多様な利活用が図られるよう、山への関心、価値の向上、森林の整備を推進する。					
② 環境保全意識の醸成 (600 千円 (前年度 2,940 千円))					
ア イベント出展や温暖化対策をテーマとした講演会による啓発					
イ 環境イベントの活動支援					
ウ 地球温暖化対策地域協議会の活動支援					
【活動指標】					
イベント等を通じて環境意識が高まった市民の割合 (R4 : 68.5% → R6 : 90.0%)					
③ 次世代自動車の普及による脱炭素化の推進 (1,635 千円 (前年度 1,956 千円))					
ア 電気自動車 (公用車)・市有施設の EV 充電設備の管理					

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市
施策の将来の目標像	AIやビッグデータなど、最先端技術を活用し、未来の暮らしを先行実現する「まるごと未来都市」を目指す取組みが積極的に展開されています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開	主管部局・所属	総務部 DX推進監
関係部局・所属	総務部 政策推進監	総務部	広報戦略監

3 目指す姿と戦略

目指す姿	デジタル化を活用した社会	現状	デジタル化がすすんでいない分野が多い	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
市民の暮らし・仕事、地域社会、行政におけるDXが推進されていない	DXの推進による市民の利便性向上		高	1
まるごと未来都市に向けた機運が醸成されていない	DXの推進に向けた体制整備		中	2
	中山間地域における生活価値の創造		低	3
SDGsの考え方が広まっていない	SDGsの推進		低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 市民ポータルサイトの登録者数	19,000 (R3)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	45,000	60,000	65,000	60,000 (R6)	件
(4) 行政手続のオンライン化	59 (R2)		400	450	500	450 (R6)	件
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度	年度	163,999				
	年度	45,187				
R6年度	年度	175,816				
	年度	107,574				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	2・1・8 DX推進事業	DX推進監	5.00	130,980	148,285
				0	0
1-2	2・1・2 DXを活用した広報事業	広報戦略監	0.20	1,716	1,716
				0	0
2-1	2・1・8 DX体制整備事業	DX推進監	0.40	14,718	13,617
				0	0
3-1	2・1・7 未来都市形成事業	政策推進監	1.20	6,314	5,627
				0	0
4-1	2・1・7 SDGs促進事業	政策推進監	1.30	10,271	6,571
				0	0
合計			8.10	163,999	175,816

<p>1 戦略推進の状況</p> <p>2 施策の進捗状況</p> <p>3 施策の成果</p> <p>4 施策の課題</p> <p>5 施策の取組</p> <p>6 施策の予算</p> <p>7 施策の人員</p> <p>8 施策の設備</p> <p>9 施策のその他</p>		<p>決算時記載</p>
<p>10 施策のその他</p> <p>11 施策のその他</p> <p>12 施策のその他</p> <p>13 施策のその他</p> <p>14 施策のその他</p> <p>15 施策のその他</p> <p>16 施策のその他</p> <p>17 施策のその他</p> <p>18 施策のその他</p> <p>19 施策のその他</p> <p>20 施策のその他</p>		

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市	① 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開

事業の概要			
戦略	1 DXの推進による市民の利便性向上	予算 150,265 千円	前年度 132,696千円
事務事業	1-1 DX推進事業	予算 148,285 千円	前年度 130,980千円

内容

1-1_D Xの推進

① 共通基盤の整備 (79,457 千円 (前年度 65,634 千円))

【拡】ア 市民ポータルサイト等の既存サービスの改善 (うち 17,752 千円)

電子回覧版や学校・子育てサービス、サポートビラ等の既存サービスをより使いやすいものに改善し、さらなる利便性向上と利用者の拡大を図る。

市民ポータルサイトの登録者数	36,509人 (R6.1月末時点)
----------------	--------------------

イ 市民ポータルサイト等の運用保守 (うち 61,705 千円)

- ・既存のサービス等の運用
- ・ライセンスの取得やシステム基盤の保守管理
- ・システムを安全かつ確実に運用するための定期バージョンアップ
- ・多言語翻訳サービス (英語・中国語・ベトナム語・ポルトガル語)

② 地域と暮らしのDXの推進 (12,058 千円 (前年度 12,019 千円))

ア 地域共創型課題解決事業 (DX型：トルク) の実施

地域の企業・団体などから地域課題を募集し、地域と全国の専門人材 (スタートアップ企業や副業人材など) との共創により課題解決を目指す。

③ e-スポーツを活用したまちづくり (3,675 千円)

【新】ア 市民 e-スポーツ大会等の開催

令和5年度に近畿大学 Town&Gown Office 事業として取り組んだ e-スポーツを、市のまちづくりに活用する契機とするために、市制施行 50 周年記念事業の意味も含めた市民 e-スポーツ大会や、e-スポーツ講座を開催する。

④ 行政DXの推進 (38,979 千円 (前年度 51,651 千円))

ア 「書かないワンストップ」窓口の実現 (うち 35,209 千円)

来庁者が住民異動 (転入やおくやみ等) の手続きをする際、書類の手書きや関係課への移動の手間を軽減するために、職員が必要事項を聞き取って申

事業の概要

請書類を作成し、一つの窓口で関係課の手続きを受け付けるワンストップ窓口の構築を推進する。

イ オンライン手続きの拡充（うち 3,770 千円）

オンライン申請の拡充による市民の手続きの利便性向上や行政の効率化を図る。

- ・広島県市町共同利用型電子申請システムの運用保守
- ・ひろしま公共施設予約システムの運用保守
- ・のんレポの運用保守

⑤ データ利活用による政策形成（14,116 千円（前年度 1,676 千円））

ア データ活用に向けたシステム運用

データを分野横断的に活用して、効果的な政策立案や事務処理の効率化に取り組むためのシステムを引き続き運用する。

- ・地理情報システム等の運用保守（うち 13,870 千円）
- ※電算処理システム管理運営事業から移管
- ・データ分析ツールの運用保守

事業の概要

戦略	1 DXの推進による市民の利便性向上	予算	150,265 千円	前年度	132,696 千円
事務事業	1-2 DXを活用した広報事業	予算	1,716 千円	前年度	1,716 千円

内容

1-2_D X を活用した広報

- ① 最新技術を活用した広報（1,716 千円（前年度 1,716 千円））
 - ア 積極的な市民への情報発信
 - A I 技術を活用したイベント情報集約サイトを運用する。

事業の概要				
戦略	2	D Xの推進に向けた体制整備	予算 13,617千円	前年度 14,718千円
事務事業	2-1	D X体制整備事業	予算 13,617千円	前年度 14,718千円
内容				
2-1_D Xの推進に向けた体制整備				
① D Xの体制整備に向けた外部人材の活用(13,617千円(前年度14,718千円))				
ア デジタル社会推進官の配置(うち9,885千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員:週4日勤務 ・D Xの推進のための庁内調整や専門知識を活かした助言等を行う。 				
イ D Xデザイナー等の活用(うち3,732千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業に勤務の専門人材をD Xデザイナーとして活用することで庁内D Xの推進を図る。 				

事業の概要				
戦略	3	中山間地域における生活価値の創造	予算 5,627千円	前年度 6,314千円
事務事業	3-1	未来都市形成事業	予算 5,627千円	前年度 6,314千円
内容				
3-1_中山間地域における生活価値の創造				
① 「生活価値創造のまち」の具現化(5,500千円(前年度6,000千円))				
福富地域において、企業所有の森(ANA ファシリティーズ(株)所有地)など地域の里山の整備・活用、生活価値創造拠点として旧竹仁小学校の整備等を行い、循環型経済の確立による地域活性化に資する取組みを進める。				
ア 生活デザイン・工学研究所の運営				
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・LINE 運営、その他情報発信等 				
イ 里山活用プログラムの組成・運用				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等とともに取り組む里山活用プログラムの組成や活動実施 				
ウ 拠点施設(旧竹仁小学校)改修整備に係る基本計画等の策定				
<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトや機能に係るワークショップ、改修における施設整備計画の策定、改修に向けた設計予備調査等 				
② 運営に係る経費(127千円(前年度314千円))				
<ul style="list-style-type: none"> ・旅費等(先進地視察・打合せ) 				

事業の概要				
戦略	4	SDGsの推進	予算 6,571 千円	前年度 10,271 千円
事務事業	4-1	SDGs促進事業	予算 6,571 千円	前年度 10,271 千円
内容				
4-1_S D G s の促進				
① 官民共創の推進(S D G s 推進パートナー支援)(1,494 千円(前年度 3,725 千円))				
SDGs 推進パートナーとの連携・支援をはじめとした官民共創により S D G s を推進することで、社会課題・地域課題の解決を図る。				
ア 「SDGs 推進アドバイザー」を活用した伴走型支援(うち 594 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・企業、団体が、活動に S D G s をどう活かしていくかを考えるためのセミナー等の実施 ・企業、団体における S D G s に資する具体的なアクションプラン作りの支援 				
イ パートナーによる S D G s 活動支援(うち 900 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ S D G s 推進パートナーが他のパートナーと連携して行う、 S D G s 促進に資する取組みの支援 				
② S D G s 特設サイトの運用(2,899 千円(前年度 4,587 千円))				
ア 特設サイトの運用(うち 2,899 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ S D G s 推進パートナーによる取組みの見える化、パートナー同士のマッチング促進のための特設サイトの運用 				
③ 市民への啓発(1,329 千円(前年度 1,028 千円))				
ア 出前講座等の啓発活動実施(うち 1,129 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・学校等への出前講座や S D G s をテーマとしたセミナー等の実施 				
イ サステナブルブランド国際会議 2024 中国ブロック大会(うち 200 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・本市を含む中国地区の高校生が参加する S D G s イベントの開催への協力 				
④ 運営に係る経費(849 千円(前年度 931 千円))				
<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修、旅費、消耗品費等 				

